
ナノハザード

ハムカッタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ナノハザード

【Nコード】

N0476Y

【作者名】

ハムカッタ

【あらすじ】

22世紀、人類は銀河系の隅々にまで進出していた。その過程で様々な問題が起き、それらのなかには大量の犠牲を出すものさえあった。

これは、とある近年未知の核融合資源を手に入れたことによって注目を集めている辺境惑星を襲ったハザードを描いた物語である。

プロローグ 発進（前書き）

今までオリジナルではなく二次創作でしたが、今回オリジナル作品をやってみようと思います。SFホラーを目指して頑張ります。

プロローグ 発進

西暦2188年代、人類はその生活領域を宇宙空間にまで広げていた。かつては地球連合共和国という地球全土を収める単一国家によって他星系はあくまで植民地だったが、その後の植民地の経済的発展や現実的に空間歪曲技術^{ワープ}の実用化に至っても全銀河系を統治することなど兵力数のことを考えると不可能という考えから今では100以上の星系が独立を果たし対等の国家となっていた。

それでも地球の影響力はそれなりにあり、これは太陽系内にある月や木星などのガス状惑星からは効率的な核融合資源のヘリウム3が算出され、小惑星帯や火星、月をはじめとした各天体から様々な資源が算出されているからだ。

銀河連邦という銀河版の国際連合においても相当の発言力をもっている。が、この物語はその当時の政治情勢などでなくある辺境惑星を襲ったテクノハザードであるためここまでにしておこう。

これが恒星間宇宙船かという失望を田中やすしは抱いていた。これならばむしろ航空機の方がまだ宇宙船らしいのではないかというほど恒星間宇宙船オリオン33号はそんな恒星間宇宙船らしからぬ様相の持ち主だった。宇宙船らしさはどこにもなくまるでひらべったいかマボコのような形をしているのだ。

ここは、地球のニューヨークにある宇宙空港で田中やすしはマディソンアンドニミッツ商事という恒星間規模の展開を広げている貿易業の人間でそれなりの地位を持っている。

今ここにいるのは辺境惑星で発見された未知の核融合資源の買取のために向かおうとしているところなのだ。

そんな彼の失望を見抜いたのか彼の傍らを宇宙船へとつながっている全景を収められるチューブ型通路を歩いている宇宙空港の職員が

話しかけていた。宇宙船内の人口冬眠装置を起動させるためとある物体を体内に投与するために向かっているのだ。

「お客様、当空港の使用は初めてでございますか？コストを考えるといかにもといった恒星間宇宙船といったものはもう民間では採用されていません。」

「ああ、そうだったね。初めてだから昔見たドラマやアニメの影響を受けてがっかりしたんだと思うよ。」

そう今では、恒星間宇宙船に大型のものはもはや存在していないのだ。何分にも初めて他星系へ向かうことから知識ではなくイメージで判断してしまったのだ。

今でも大型の恒星間宇宙船といったものは軍用や学術調査、恒星間移民船などに存在している。しかし、民間では星系内船を除いて大型の宇宙船といったものを保有していない。

というのもコストがかかりすぎるのだ。初期のものはラムジェットという宇宙空間に大量に尊刺している星間水素を集め光速で移動するという方式のもだった。その当時は空間歪曲技術ワープや惑星改造技術テラフォーミングが劣っていたために大規模な世代間交代をも視野にいれた宇宙船に数百万人もの人間を乗せて恒星間宇宙へと乗り出していた。しかし、今では違う。

もう技術進歩によって光速という宇宙空間での最高速度を空間の一点と一点を歪める航法で移動できるようになった今は誰でも他星系へと乗り出せるようになっていた。

そこで問題になるのが水や食料だった。空気についてはもう既に二酸化炭素を分解し酸素へと転換させる技術が実現しているが、幾らワープといえど他星系へ移動する際には水や食料を大量に積み込まねばならない。それらのコストがかかるし、人員数によっても変動が生じるだろう。

ナノマシンや微生物の使用によって閉鎖環境内で老廃物から食料や

水を再生し手に入れるシステムも確立されているが科学的事実では別に問題なくても心情的に問題があるし、一種の人口生態系バイオスフィアを構築するのもコストがかかってしまう。

それ以外にも娯楽施設や乗組員や乗客の搭乗スペースさえ設ける必要性さえ出てくる。

そこで今では人口冬眠によって乗客を眠らせた上で人口知能システム（AI）によって自動操縦で向かわせるという方式が捉えていた。

その後、宇宙空港職員によって万一对放射能シールドが破損した場合に備えての放射能対策にとある物体の体内投与と人口冬眠を終えると、宇宙船は目的地の辺境惑星へと向けて田中やすしを乗せて発信していた。

しかし、田中やすしに限って片道通行であることを誰も知らなかった。それもただ死ぬのではなく大量の犠牲を出す元凶になってしま
うとは………

プロローグ 発進（後書き）

ゾンビとナノハザードだとある程度設定バレちゃうかな。

第1話 惑星ゴビ

人類が銀河系内に進出したと言ってもその初期は、苦難の連続だった。移民船団内の内乱などによって移民船団が壊滅したりブラックホールに偶発的に遭遇したり、光の速度は遅いため移住可能とされた惑星がもうすでに滅んでいたということさえあった。また、その頃は劣悪な環境の惑星の移住にあえて移住することも行われた。惑星移住がここまで頻繁に行われるようになったのは、地球の人口増加とそれに伴う食危機、人口数が増えたことによる地球温暖化はなくなつたが熱危機が起こつたためだ。

熱危機とは機械の放出熱によって起こる熱上昇のことだ。

その惑星ゴビは、銀河系内のより優位な惑星へ空間歪曲技術ワーブフォーミングと惑星改造技術によって移植できるようになる以前に入植された惑星であり、その環境は最悪だった。

ゴビという名から分かる通り、砂漠と不毛の岩石地帯が殆どを占めており、緑にあふれる地帯などはほとんどなかった。人口数もほかの惑星より少なく、惑星全体で数千人しかいないだろう。

惑星の開拓は、この惑星に移住するまでの間に機械機器のシステムダウンなどがあり、ほかの辺境惑星と比べても惑星開拓は進んでいない。

空間歪曲技術ワーブフォーミングの開発とそれに伴う恒星間移動の高度化によって他惑星から進んだ技術が伝わってくるようになって、ナノマシンや微生物による環境の改善などは工場施設の不備や経済的な面もあり更に一番の要因である位置的要因によって大量に手に入れることはできず夢のまた夢だった。

経済的な価値も工業的な価値もほとんどなく軍事上の地政学的な価値もなく、この惑星は都市部を中心にした生活が行われるのみの寂れた惑星だった。

「だが、それもこれまでよ。」
そうつぶやくものがいた。この惑星ゴビの大統領であるワン・リンメイだった。草原地帯の真ん中に位置するゴビの首都の大統領官邸のことだった。

ゴビでは、二党制に基づく政治体制をとっており、大統領は直接選挙で選ばれる制度になっている。

彼女はこの惑星全体が自分たちが辺境の劣った惑星であるという思いから人身が寂れた現状をなんとかしたいという経緯から大統領を目指した。

彼女が大統領に就任してから積極的な開拓によって砂漠地帯の緑化などもそれなりに進むようになった。それでもゴビの現状に一石を投ずるとは思わなかったが、彼女はその一石を投じたのだった。

それは開拓のための地質調査を行なっている最中に発見された鉱石だった。当初はただ地質学的に興味深いゴビ特有の鉱石だと思われたのだが、それが核融合資源として最適な条件を備えていることが分かったのだ。核融合は、非常に軽い原子核同士の融合で起こるのだが、この鉱石は全く未知の元素であり、水素と同様に核融合反応を起こす上で最適なのだ。ヘリウム3には劣るが、それでも水素よりは遥かに核融合資源としての効率が高い。

埋蔵量も大量にあり、今後何十年にわたって採掘しても無くなることはないと言われている。それにほかの地点で探査を進めればまだ有望な鉱床は見込めるし、無くなるまでの間に惑星開拓をより進めればいいだけだ。

このことは惑星外技術である超光速通信システムを用いて銀河連邦や一般のニュースネットワークに流しているのだ。

ほかの惑星の企業から買付の依頼がなされており、地球のマディソンアンドニミッツ商事からは買付のための人員が来るという話だ。

(ふふ、これでこの惑星の未来も安泰ね。)

彼女はあと2年勤めれば任期が終わるので大統領として見届けることはないだろう。それでも核融合資源医によって経済的發展を遂げるゴビの未来に思いを馳せるのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0476y/>

ナノハザード

2011年11月17日00時07分発行